

平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
国語Ⅲ (Japanese III)	担当教員	松田 信彦 (Matsuda, Nobuhiko) 小野 益夫 (Ono, Masuo)		
	教員室	松田: 都市環境デザイン工学科棟3階 (TEL: 42-9042) 小野: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	松田: n-matuda@kagoshima-ct.ac.jp 小野:		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
<p>〔本科目の目標〕 現代文・古典に関わらず、作品を的確に理解し、鑑賞力・思考力・批判力を高め、自己の言語生活及び教養を豊かにする。また日本語の基礎事項および表現法を修得し、自分の考えを適切に表現する知識・技能を養うとともに、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。また特に日本語をとおして日本文化を考えることも目的とする。</p>				
<p>〔本科目の位置付け〕 1年次の「国語Ⅰ」、2年次の「国語Ⅱ」における、現代文・古文・漢文・言語の既修事項を踏まえて、深い教養を身につけ、よりよい社会生活を送るために、国語の総合力をのばす科目である。4年次の「日本語表現」へと発展する。</p>				
<p>〔学習上の留意点〕 本年度は、昨年度の教科書を引き続き使用し、さらなる作品理解に努めるだけでなく、総合的な国語力を高めるために、「パーフェクト演習」も使用して授業を進める。教科書のほか手持ちの国語便覧・国語辞典等を活用するとともに、日常生活の中で読書や新聞・テレビ・ラジオを視聴するときにも、常に自分の語彙力・表現力及び教養を豊かにする工夫をすること。</p>				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
<b>【現代文A】</b> 1. 随想「さくらさくらさくら」	6	<input type="checkbox"/> 筆者の「桜」に対する考え方を読み取ると同時に、本文中の有名な古典作品を踏まえ、桜に寄せる日本人の考え方を理解できる。 <input type="checkbox"/> 語句の意味、用法を的確に理解し、使用できる。 <input type="checkbox"/> どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考えることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の当該本文の音読をすること。
2. 小説「こころ」	12	<input type="checkbox"/> 長編小説の主題を、場面の展開や人物描写からそれぞれの心理と人間性を的確に読み取り、「私」の取った行動の真理を理解できる。 <input type="checkbox"/> 「K」の「覚悟」ということばを「私」はどのように解釈し、どのような行動に出たかを読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 明治時代の風俗を示す語句の意味や用法を、的確に理解できる。 <input type="checkbox"/> 作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを説明することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の当該本文の音読をすること。
3. 評論「最初のペンギン」	8	<input type="checkbox"/> どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 筆者の提起している問題について理解し、社会や人間についての考えを広げることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の当該本文の音読をすること。
<b>【パーフェクト演習】</b> 4. 第一編	2	<input type="checkbox"/> 基礎的な語彙力の強化をはかり、日本語を正しく読み書きできる。	<input type="checkbox"/>	授業時に指示する。
---前期期末試験--- 試験答案の返却・解説	2	授業項目1~3について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。 (非評価項目) >>> 次頁へつづく >>>		



平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群			
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン			
政治・経済 (Politics and Economics)	担当教員	林 良平 (Hayashi, Ryohei)			
	教員室	都市環境デザイン工学科棟3階 (Tel:42-9044)			
	E-Mail	hayashi@kagoshima-ct.ac.jp			
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2単位				
週あたりの学習時間と回数	[授業(90分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する				
[本科目の目標] 広い視野に立って, 民主主義の本質に関する理解を深めさせ, 現代における政治, 経済, 国際関係などについて客観的に理解させるとともに, それらに関する諸課題について主体的に考察させ, 公正な判断力を養い, 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。					
[本科目の位置付け] 4年次で学習する社会概説Ⅱ, 5年次で学習する法学Ⅰ・Ⅱ, 経済学, 政治学, 社会概説Ⅳの基礎となる分野を総合的に学習する。					
[学習上の留意点] 本科目はスライド資料, 板書, 授業プリントに従って行う。授業資料は授業中に配布するほか, 学内サーバー上の共有フォルダにアップロードされている。これらの資料を各自で復習に活用すること。特に配布される練習問題は, 必ず解くこと。					
[授業の内容]					
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容	
1. イントロダクション	8	<input type="checkbox"/> 経済学の概念を用いて社会事象を説明できる。 <input type="checkbox"/> グラフを用いて変数間の関係を説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	参考書の該当する章を読み, 概要を理解しておく。 経済学で多用される基礎数学を復習し, 十分に習得しておく。(直線と1次式, 放物線, 2次関数, 最大最小, 分数関数, 平方根の関数, 累乗と累乗根, 指数関数と対数関数, 微分法)	
2. ミクロ経済学	20	<input type="checkbox"/> リカードの比較生産費説を説明し, 数値を計算できる。 <input type="checkbox"/> 市場の成果を限界分析によりグラフや数値を用いて説明できる。 <input type="checkbox"/> 市場の成果を均衡分析によりグラフや数値を用いて説明できる。 <input type="checkbox"/> 市場の成果を厚生分析によりグラフや数値を用いて説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
-- 期末(定期)試験 -- 試験答案の返却・解説	2	授業項目1.2.の達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。			
3. マクロ経済学	24	<input type="checkbox"/> さまざまな経済指標(GDP, GDPデフレーター, CPI, 経済成長率, CAGR, GINI係数)の意義を説明し, 簡単な算出ができる。 <input type="checkbox"/> 貨幣システムの意味, 機能, 種類を説明できる。 <input type="checkbox"/> 経済変動の原因を説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
4. 現代社会の諸課題	4	<input type="checkbox"/> 発展途上国の現状と国際協力活動の意義, 差別問題について説明できる。	<input type="checkbox"/>		
-- 学年末(定期)試験 -- 試験答案の返却・解説	2	授業項目3.4.の達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。			
[教科書] なし					
[参考書] N・グレゴリー・マンキュー著, 足立英之他訳, 『マンキュー入門経済学』, 第2版, 東洋経済新報社, 2014年					
[成績評価の基準] 定期試験の平均点×70%+授業中に実施される小テスト(30%)+授業態度(最大30%)					
[本科(準学士課程)の学習・教育到達目標との関連] 1-a					
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連]					
[JABEEとの関連]					
[教育プログラムの科目分類]					

Memo

平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・前期・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
線形代数Ⅲ (Linear Algebra Ⅲ)	担当教員	ME: 斉之平 浩 (Sainohira, Hiroshi) SC: 嶋根 紀仁 (Shimane, Norihito) I: 藤崎 恒晏 (Fujisaki, Tsunehiro)		
	教員室	斉之平: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167) 嶋根: 一般科目棟3階 (TEL: 42-9047) 藤崎: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	嶋根: shimane (最後に@kagoshima-ct.ac.jp を付けて下さい)		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業(90分)] × 15回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標]				
(1) 平面における1次変換についての基本的事項を学び、回転など図形的な問題への応用を考える。				
(2) 固有値、固有ベクトルについて学び、行列の対角化が行えるようにする。				
[本科目の位置付け]				
(1) 線形代数ⅠおよびⅡの知識を前提とする。				
(2) 線形代数は、多くの分野で必須なものである。				
[学習上の留意点]				
本科目は講義・演習形式で行う。以下の点に留意して学習すること。				
(1) 教科書等を参考に予習を行い、講義に臨むこと。				
(2) 受講後は要点をまとめ、問題演習を行い、学習内容の定着をはかること。				
(3) 疑問点は質問を行い、後に残さないように心がけること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 1次変換	1 2	<input type="checkbox"/> 1次変換の定義、性質を説明できる。 <input type="checkbox"/> 1次変換による点や直線の像を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 1次変換の合成変換や逆変換を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 原点を中心とした回転移動を行列によって表すことができる。 <input type="checkbox"/> 1次変換の応用として回転移動による2次曲線の像を求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p. 138-p. 155の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
2. 固有値と固有ベクトル	2	<input type="checkbox"/> 行列の固有値、固有ベクトルを求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p. 162-p. 167の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
——前学期中間試験——		授業項目1について達成度を確認する。		
3. 固有値と対角化	1 4	<input type="checkbox"/> 行列の固有値、固有ベクトルを求め、対角化を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 直交行列による対称行列の対角化を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 対角化の応用として行列のn乗や2次形式の標準形を求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p. 162-p. 184の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
——前学期期末試験——		授業項目2, 3について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
[教科書] 新版 線形代数 岡本和夫 監修 実教出版				
[参考書・補助教材] 新版 線形代数演習 岡本和夫 監修 実教出版				
[成績評価の基準] 中間・期末試験(70点) + {問題演習—(授業態度+欠席状況)}(30点)				
[本科(準学士課程)の学習・教育到達目標との関連] 3-a				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連]				
[JABEEとの関連]				
[教育プログラムの科目分類]				

Memo

平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・前期・A群		
	対象学科・専攻	機械、電子電気、電子制御、情報、都市環境デザイン工学科		
微積分学Ⅲ (Calculus Ⅲ)	担当教員	拜田 稔 (Haida, Minoru) 嶋根 紀仁 (Shimane, Norihito) 村上 浩 (Murakami, Hiroshi) 熊谷 博 (kumagai, Hiroshi) 松浦 将國 (Matsuura, Masakuni)		
	教員室	一般科目棟3F 拜田: Tel. 42-9051、嶋根: Tel. 42-9047、村上: Tel. 42-9046、熊谷: Tel. 42-9048、松浦: Tel. 42-9050		
	E-Mail	拜田: haida、嶋根: shimane、村上: h_muraka、熊谷: kumagai、松浦: matsuura の後に@kagoshima-ct.ac.jpをつける。		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (180分)] × 15回 ※適宜, 補講を実施する。			
[本科目の目標] (1) 定積分の計算力を身につけ、面積・体積・長さなどへの応用力を養うこと。 (2) 関数の展開や近似値の計算ができるようになること。 (3) 偏微分の計算力を身につけること。				
[本科目の位置付け] (1) 数学基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ、Ⅱの基礎知識を前提とする。 (2) 微積分は工学の基礎知識である。				
[学習上の留意点] (1) 教科書を参考に予習を行うこと。授業に集中すること。 (2) 受講後は問題集などで問題を解き、具体的な問題の解法を身につけること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 定積分 面積	2	<input type="checkbox"/> グラフで囲まれた図形の面積の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.170-p.173 を読んで概要を把握しておく。
極座標と面積	2	<input type="checkbox"/> 極座標を用いて面積の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.173-p.174 を読んで概要を把握しておく。
体積	4	<input type="checkbox"/> 立体や回転体の体積の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.174-p.177 を読んで概要を把握しておく。
2. 数列・級数 数列の極限	2	<input type="checkbox"/> 極限を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.180-p.185 を読んで概要を把握しておく。
無限級数	4	<input type="checkbox"/> 級数の収束・発散を調べ、和を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.185-p.189 を読んで概要を把握しておく。
べき級数	2	<input type="checkbox"/> べき級数の収束半径を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.190-p.191 を読んで概要を把握しておく。
3. 高次導関数 n次導関数	2	<input type="checkbox"/> 関数の高次導関数の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.107-p.109 を読んで概要を把握しておく。
ライプニッツの公式	2	<input type="checkbox"/> ライプニッツの公式を使うことができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.109-p.111 を読んで概要を把握しておく。
4. 関数の展開 近似式	2	<input type="checkbox"/> 関数の近似式を求め、誤差の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.193-p.195 を読んで概要を把握しておく。
マクローリン展開	2	<input type="checkbox"/> 関数のマクローリン展開をもとめることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.195-p.197 を読んで概要を把握しておく。
テイラー展開	2	<input type="checkbox"/> 関数のテイラー展開を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.198-p.199 を読んで概要を把握しておく。
— 中間試験 —		授業項目1. 2. 3. 4. に対して到達度を確認する。  >>> 次項へつづく >>>		



平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・後期・A群		
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、都市環境デザイン工学科		
微積分学IV (Calculus IV)	担当教員	拜田 稔 (Haida, Minoru) 嶋根 紀仁 (Shimane, Norihito) 村上 浩 (Murakami, Hiroshi) 熊谷 博 (kumagai, Hiroshi) 松浦 将國 (Matsuura, Masakuni)		
	教員室	一般科目棟3F 拜田：Tel. 42-9051、嶋根：Tel. 42-9047、村上：Tel. 42-9046、熊谷：Tel. 42-9048、松浦：Tel. 42-9050		
	E-Mail	拜田：haida、嶋根：shimane、村上：h_muraka、熊谷：kumagai、松浦：matsuura の後に@kagoshima-ct.ac.jp をつける。		
教育形態／単位の種別／単位数	講義	履修単位	1単位	
週あたりの学習時間と回数	[授業(90分)] × 15回 ※適宜、補講を実施する。			
[本科目の目標] (1) 2変数関数の極値を求めることができること。 (2) 2重積分の計算に習熟すること。 (3) 基本的な1階微分方程式や2階微分方程式が解けること。				
[本科目の位置付け] (1) 数学基礎IⅡⅢⅣ、微積分学IⅡⅢ、線形代数IⅡⅢの基礎知識を前提とする。 (2) 微分方程式や2変数関数の微分積分は工学の基礎知識である。				
[学習上の留意点] (1) 教科書や配布プリントを参考に予習を行うこと。授業に集中すること。 (2) 受講後は問題集などで問題を解き、具体的な問題の解法を身に付けること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 偏微分の応用 2変数関数の展開	1	<input type="checkbox"/> 2変数関数のマクローリン展開を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.241-p.243 を読んで概要を把握しておく。
2変数関数の極大・極小	4	<input type="checkbox"/> 2変数関数の極値を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.243-p.249 を読んで概要を把握しておく。
陰関数の極値	1	<input type="checkbox"/> 陰関数の極値を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.249-p.250 を読んで概要を把握しておく。
条件付き極値	1	<input type="checkbox"/> 条件付き極値を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.250-p.251 を読んで概要を把握しておく。
2. 重積分 累次積分	4	<input type="checkbox"/> 累次積分の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.253-p.258 を読んで概要を把握しておく。
積分順序の変更	1	<input type="checkbox"/> 積分順序を変更することができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.259-p.260 を読んで概要を把握しておく。
極座標による2重積分	2	<input type="checkbox"/> 極座標を用いて2重積分を計算することができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.261-p.264 を読んで概要を把握しておく。
3重積分・体積	2	<input type="checkbox"/> 3重積分の計算や2重積分を用いて体積を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.266-p.269 を読んで概要を把握しておく。
— 中間試験 —		授業項目1, 2. に対して到達度を確認する。  >>> 次項へつづく >>>		





平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・後期・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
確率・統計 (Probability & Statistics)	担当教員	ME: 斉之平 浩 (Sainohira, Hiroshi) SC: 嶋根 紀仁 (Shimane, Norihito) I: 藤崎 恒晏 (Fujisaki, Tsunehiro)		
	教員室	斉之平: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167) 嶋根: 一般科目棟3階 (TEL: 42-9047) 藤崎: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	嶋根: shimane (最後に@kagoshima-ct.ac.jp を付けて下さい)		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業(90分)] × 15回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] (1) 確率に関する基本的な概念や法則について理解を深める (2) 統計的な見方や考え方に関する能力を養う				
[本科目の位置付け] (1) 数学基礎 I, II, 微積分学 I, II で学んだ内容を前提とする (2) 確率・統計は工学全般, 経済学, 社会学などの分野において必須なものと位置づけられる				
[学習上の留意点] 問題演習を十分に行い, 確率・統計に関する演算の定着をはかること				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 確率	12	<input type="checkbox"/> 確率の定義や性質を理解し, 基本的な問題が解ける <input type="checkbox"/> 事象の独立や条件つき確率の概念を理解し, 基本的な問題が解ける	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書p.1~p.26を読み, 概要を把握しておく
2. 度数分布と代表値 —— 後学期中間試験 ——	2	<input type="checkbox"/> 1次元のデータについて, 用語を理解し, 平均を求めることができる  授業項目1, 2について達成度を確認する	<input type="checkbox"/>	教科書p.28~p.33を読み, 概要を把握しておく
3. データの整理	6	<input type="checkbox"/> 1次元のデータについて, 分散, 標準偏差を求めることができる <input type="checkbox"/> 2次元のデータについて, 相関係数や回帰直線の方程式を求めることができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書p.24~p.38, p.42, p.44~p.53を読み, 概要を把握しておく
4. 確率変数と確率分布 —— 後学期期末試験 ——	8	<input type="checkbox"/> 与えられた確率分布の平均, 分散, 標準偏差を求めることができる <input type="checkbox"/> 正規分布表を利用して確率を求めることができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書 p.55~p.60, p.64~p.73, p.76 を読み, 概要を把握しておく
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
[教科書] 新訂 確率統計 高遠節夫・斎藤 斉 他 大日本図書				
[参考書・補助教材]				
[成績評価の基準] 中間・期末試験(70点) + {問題演習-(授業態度+欠席状況)} (30点)				
[本科(準学士課程)の学習・教育到達目標との関連] 3-a				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連]				
[JABEEとの関連]				
[教育プログラムの科目分類]				

Memo

-----

-----

-----

平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
保健体育 (Physical Education)	担当教員	北菌 裕一 (Kitazono, Yuichi) 堂園 一 (Douzono, Hajime) 山崎 亨 (Yamasaki, Toru)	
	教員室	体育館2階 (TEL&FAX: 42-9065 または 42-9066)	
	E-Mail	kitazono@kagoshima-ct.ac.jp	
	教育形態/単位の種別/単位数	講義・実習 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 30回		
[本科目の目標] 運動の合理的な実践と健康についての基礎的な事項について科学的な理解を深め, これらに基づいて自ら進んで積極的なスポーツ活動への参加と, 健康の保持増進に関する問題を解決する能力を養う。			
[本科目の位置付け] 心身共に健康な技術者としての身体の基礎づくり。体育・スポーツ活動の実践を通して, 相手の立場に立ってものを考え, グローバルに活躍できる人間性の育成。			
[学習上の留意点] 教科書「高専の健康科学」及び参考書「マイ・スポーツ」の授業に関連するところを読み理解すること。実技においては, 教材 (運動場・体育館) を考えて正しい服装と, 体育用具等の管理, 安全に十分留意すること。			
[授業の内容]			
授業項目	時間数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. オリエンテーション	2	<input type="checkbox"/> (1) 選択制授業のガイダンスを理解することができる。 <input type="checkbox"/> (2) AED (自動体外式除細動器) の取り扱い方法と一次救命処置が理解できる。	参考書「マイ・スポーツ」による
2. スポーツテスト	4	<input type="checkbox"/> (1) 運動能力テストと体力診断テストを実施し, 自己評価ができる。	
注) 選択制12: 授業項目3~12については, 各種目12時間をワンセットとして, 種目選択の機会を4回設定する。従事時間合計48時間 (=12時間×4種目)。			
3. バレーボール	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) パス, スパイク, サービスができる。 <input type="checkbox"/> (2) 1・5 フォーメーションゲーム, 審判を行うことができる。	P187-P205 の内容について, 参考書「マイ・スポーツ」を読んでルール等確認しておく。
4. テニス	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術練習: グリップ, ラケットワーク, ストローク, サービス, ネットプレイ <input type="checkbox"/> (2) ゲームの進め方, 審判法, ゲーム (シングル, ダブルス)	P209-P216の内容について, 正規のシングルス, ダブルスの戦術的理解とゲームの進め方を理解しておく。
5. ソフトテニス	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能: ストローク, サービス, ボレーができる。 <input type="checkbox"/> (2) 雁行陣・平行陣のゲームができる。	P217-P226の内容について, 正式なルールにより, ペアで作戦を立ててのゲームを理解しておく。
6. ソフトボール	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能の復習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) ゲーム, 審判を行うことができる。	P251-P263の内容について, 特にチームプレイの徹底を理解しておく。
7. ゴルフ	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) クラブの種類と構造, 握り方を理解できる。 <input type="checkbox"/> (2) スイングの基本と練習ができる。	P386-P387の内容について, 特にプレイ上のエチケットとマナーを理解しておく。
8. サッカー	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術及びシュート練習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) 4・3・3 システムフォーメーションの理解とゲーム, 審判を行うことができる。	P147-P165の内容について, 特にゲームスタイルの変遷を理解しゲームに応用できるようにしておく。
>>> 次頁へつづく >>>			



平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英語Ⅲ (English III)	担当教員	佐藤 哲三 (Sato, Tetsuzo) 塚崎 香織 (Tsukazaki, Kaori)		
	教員室	佐藤: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167) 塚崎: 都市環境棟3階 (TEL: 0995-42-9061)		
	E-Mail	佐藤: ttz-satou@healthcare-m.ac.jp 塚崎: tukazaki@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。				
[本科目の位置付け] 中学校、高専1・2年生で既習の語彙・文法事項・構文を定着させる。さらに、語彙を追加し、上のレベルの文法事項や構文を習得し、英語Ⅲにつなげる。授業項目、達成目標、学習内容について英文法Ⅱと連携をとりながら進めていく。				
[学習上の留意点] 英和辞典を持参すること。予習・復習を十分に行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. S+V+C (that 節)	5	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて説明できる。	<input type="checkbox"/>	教科書本文をノートに写す。 新出語彙・文法を辞書で調べ、書いて覚える。 演習問題を解く。 単語集の語句を書いて覚える。音読の練習をする。 600選の英文を暗唱する。
2. 関係詞の非制限用法	5	<input type="checkbox"/> 各文法項目の用法を知り、日本語に翻訳できる。	<input type="checkbox"/>	
3. 聞く/話す/読む/書くこと	4	<input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	<input type="checkbox"/>	
--- 前期中間試験 ---		授業項目1~3について達成度を確認する。		
4. 比較表現	4	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて説明できる。	<input type="checkbox"/>	
5. 受け身 (完了形)	2	<input type="checkbox"/> 各文法項目の用法を知り、日本語に翻訳できる。	<input type="checkbox"/>	
6. 節を指す形式主語 it	2			
7. 聞く/話す/読む/書くこと	6	<input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	<input type="checkbox"/>	
--- 前期期末試験 ---		授業項目4~7について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。		
8. 完了形不定詞	4	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて説明できる。	<input type="checkbox"/>	
9. 倒置	2	<input type="checkbox"/> 各文法項目の用法を知り、日本語に翻訳できる。	<input type="checkbox"/>	
10. 第5文型(C=過去分詞)	2	<input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	<input type="checkbox"/>	
11. 聞く/話す/読む/書くこと	6			
--- 後期中間試験 ---		授業項目8~11について達成度を確認する。		
12. 第2文型	6	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて説明できる。	<input type="checkbox"/>	
13. 聞く/話す/読む/書くこと	8	<input type="checkbox"/> 各文法項目の用法を知り、日本語に翻訳できる。	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	<input type="checkbox"/>	
--- 後期期末試験 ---		授業項目12~13について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
[教科書] Prominence Communication English II (東京書籍)				
[参考書・補助教材] ワークブック、英和辞典、和英辞典、速読英単語必修編、600選				
[成績評価の基準] 中間及び期末試験成績(60%) + 小テスト・レポート等(40%) - 授業態度(上限20%)				
[本科(準学士課程)の学習・教育到達目標との関連] 2-b				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連]				
[JABEEとの関連]				
[教育プログラムの科目分類]				



平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英文法Ⅲ (English Grammar Ⅲ)	担当教員	鞍掛 哲治 (Kurakake, Tetsuharu)		
	教員室	都市環境デザイン工学科3階 (TEL: 42-9058)		
	E-Mail	kurakake@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 ( 90分 ) + 自学自習 ( 60分 )] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 英語コミュニケーション能力に必要な基礎的英文法の知識を習得する。ドリルを通してより多くの問題に触れ、英文を正確に読み書きできることを目標とする。特に、ライティングは習得した英文法の知識を駆使して、100語～200語の1パラグラフのエッセイを書くことができることを目標とする。				
[本科目の位置付け] 本科目は英文法Ⅰ、Ⅱを復習しながら、より発展させた内容を扱う。また、英語Ⅱの文法事項を解説し、演習を行う。英語のエッセイライティングの基礎を習得する。				
[学習上の留意点] 英文法Ⅰ、Ⅱで既習の英文法についての一般的な知識が必要です。また、英語の基礎的言語能力を養うためには反復が必要なので、ドリルを厭わず積極的な態度で学習することが臨まれます。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. Unit01-05  --- 前学期中間試験 --- 試験答案の返却・解説	13  2	<input type="checkbox"/> 動詞、トピックの類推、派生語、同一品詞の語彙問題(名詞)について説明できる。  授業項目1について達成度を確認する。  試験において間違った部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>	pp.06-26の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
2. Unit06-10  --- 前学期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	13  2	<input type="checkbox"/> 語形(動詞・形容詞・副詞)、同一品詞の語彙問題(形容詞・副詞・前置詞)について説明できる。  授業項目2について達成度を確認する。  各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>	pp.27-47の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
3. Essay Writing  --- 後学期中間試験 --- 試験答案の返却・解説	13  2	<input type="checkbox"/> パラグラフとは何か、その構成について説明できる。 <input type="checkbox"/> パラグラフのいくつかのパターンを説明できる。 <input type="checkbox"/> 1パラグラフのエッセイを書くことができる。  授業項目3について達成度を確認する。(G-TEC)  試験において間違った部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	配布されたプリントを読み、概要を把握する。 Step-up Noteの問題を解答する。
4. Unit11-15  --- 後学期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	13  2	<input type="checkbox"/> 語順、語形(不定詞・動名詞・分詞)、同一品詞の語彙問題(疑問詞・関係詞・接続詞)の用法について説明できる。  授業項目4について達成度を確認する。  各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>	pp.47-67の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
[教科書] TOEIC Bridge :Training Tips 高山 芳樹著 南雲堂				
[参考書・補助教材] UPO-NET オンライン教材 G-TEC for Students Step-up Note				
[成績評価の基準] 定期試験(中間試験および期末試験)の成績 (70%) + ホテスト及びレポート成績 (30%)				
[本科(準学士課程)の学習・教育到達目標との関連] 2-b				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連]				
[JABEEとの関連]				
[教育プログラムの科目分類]				

Memo

平成27年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・後期・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英語演習Ⅲ (Language Laboratory Ⅲ)	担当教員	嵯峨原 昭次 (Sagahara, Shoji) 松元 貴子 (Matsumoto, Takako)		
	教員室	嵯峨原: 図書館2階 (TEL: 42-9062) 松元: 学生共通棟1階 非常勤講師研究室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	嵯峨原: sagahara@kagoshima-ct.ac.jp 松元: tako1116@ezweb.ne.jp / takakom116@hotmail.co.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 15回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 国際的に通用する英語コミュニケーション能力に必要な英語での会話能力を習得する。具体的には正しく英語を発音できる。英語を正しく聞き取ることができる。自分の言いたいことを英語で話すことができる。英会話表現を認知できる。				
[本科目の位置付け] 1年次の英語演習Ⅰ、2年次の英語演習Ⅱで習得した英語発音(ハミング8メソッド)を復習し正しい英語発音を持続させながら、リスニング能力・スピーキング能力を向上させて、英会話の能力を高める。				
[学習上の留意点]				
① 1・2年次の英語演習で習得したハミング8メソッドの練習を続けて更なる定着を目指す。				
② リスニングの問題集を利用してリスニングの演習を行う。				
③ 英会話表現復習テストに備えて学習すること。				
④ 評価のほとんどは実践的な活動で評価するので、特に授業中の演習や実践テストに真剣に取り組むこと。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1) 後期中間試験前まで	1 4	<input type="checkbox"/> ① 英文を正しい発音で読むことができる。	<input type="checkbox"/>	① 指定された英文の読みの練習をしておくこと。
① Pronunciation (英文レベル)		<input type="checkbox"/> ② 英語で相手と対話を発表できる。英語で言いたいことを話すことができる。	<input type="checkbox"/>	② 対話原稿を練習しておくこと
② Speech (Dialogue), Speaking		<input type="checkbox"/> ③ 専用リスニングテキストを活用して、準2級リスニングレベルの問題をほぼ完全に解くことができる。2級リスニングレベルの問題も一部解くことができる。	<input type="checkbox"/>	
③ Listening		<input type="checkbox"/> ④ 場面ごとの英語表現を認知することができる。	<input type="checkbox"/>	④ 教科書の指定されたところを学習して復習テストに備えること。
④ 表現 (場面)				
2) 後期期末試験前まで	1 4	<input type="checkbox"/> ① 英文を正しい発音で読むことができる。	<input type="checkbox"/>	① 指定された英文の読みの練習をしておくこと。
① Pronunciation (英文レベル)		<input type="checkbox"/> ② 英語で相手と対話を発表できる。英語で言いたいことを話すことができる。	<input type="checkbox"/>	② 対話の原稿を練習しておくこと。
② Speech (Dialogue), Speaking		<input type="checkbox"/> ③ 専用リスニングテキストを活用して、準2級リスニングレベルの問題をほぼ完全に解くことができる。2級リスニングレベルの問題も一部解くことができる。	<input type="checkbox"/>	
③ Listening		<input type="checkbox"/> ④ 場面ごとの英語表現を認知することができる。	<input type="checkbox"/>	④ 教科書の指定されたところを学習して復習テストに備えること。
④ 表現 (場面)				
—後期期末試験—		授業項目①～④について達成度を確認する(実践テスト)		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。 (非評価項目)		
[教科書] はちの発音 ハミングメソッド 大庭まゆみ著 ハミングバード Voice リスニングスキルアップテスト 15 minutes 野村和宏著 第一学習社 まるごと使える旅行英会話ミニフレーズ 高橋朋子 アルク				
[参考書・補助教材] はちの発音副教材、リスニング教材、ビデオ教材、プリント教材				
[成績評価の基準] 授業中の実践発表・演習テスト・期末試験・レポート課題 (100%)				

[本科（準学士課程）の学習教育到達目標との関連] 2-b

[教育プログラムの学習・教育目標との関連]

[JABEE との関連]

[教育プログラムの科目分類]

*Memo*.....